

愛知老人コミュニティーセンター ニュース



# まきば通信

第38号

## 目次

	頁
〈巻頭言〉	1
〈わたしの愛唱讃美歌〉	2
〈車椅子仕様車にて介護の方もお買い物!〉	3
〈特集「まきば」の職員の気持ち〉	4~5
〈「まきば」トピックス〉	6~7
〈編集後記〉	8

## 「母を看取ってー『まきば』の皆様に支えられてー」

### 岩本 ひかり

(名古屋中村教会信徒)

「出来る限り、住み慣れた家で暮らしたい」という母(95歳)の希望で、父の亡き後も半年ほど母は一人暮らしを続けました。要介護2、脊柱管狭窄症のため体を真っ直ぐにして眠ることはできず、ベッドとトイレは歩行器を使って移動していました。隣に住んでいた私が、毎日雨戸の開け閉め、週2回夕食を共にして、公的介護を支える多くの方々のお力を借りて、なんとか暮らしておりました。コロナ禍の中、教会にも何度か車いすを積んで出掛けました。

しかし、一昨年の暮れのこと、夜中にトイレへ起きたものの床に腰がストンと落ち、起き上がり切れず、朝まで床に座ったままということが二度ほど起きました。心配した兄が、「『まきば』への入居には、以前は「自立」の状態が条件だったが、今は相談の上で入居可能」と聞き、手続きを始めてくれました。

母はクリスチャンホームで育ち、金城教会で受洗、金城学院で学び、生涯にわたり教会生活を続けた人でした。教会は故郷のような場所で、そこには両親や兄妹、懐かしい友人との思い出がありました。「まきば」への入居が決まり、最後に金城教会の礼拝に出たとき、木下牧師は車いすに座る母のため、新しい生活の上に神様のお守りを祈って下さり、母は涙し、感謝していました。

「まきば」では、母の緊急性を考慮して、大急ぎで受け入れの準備をして下さいました。おかげで昨年1月に無事入居、しかし、コロナのため家族も館内に入ることはできず、時々、玄関のガラス越しに面会しました。以前



は毎日、私と顔を合わせ生活でしたから淋しそうでしたが、ただ、母にとって嬉しかったことは、先に入居した兄夫婦と会えること、そして日曜礼拝(南山教会のリモート礼拝)、聖書を学ぶ会へ参加できることでした。5月に入り、体調を崩し愛知国際病院に入院しました。「まきば」のケアマネさんに母の意志を確認して頂き、「もう点滴は要らない、『まきば』に戻りたい」と言うので、「まきば」では看取りの準備を進めて下さいました。部屋を介護棟に移し、家族が庭から出入りできるよう配慮を頂きました。

退院時には排尿も困難で、お医者さんからはあと数日と告げられました。ところが、「まきば」に戻りお風呂に入れてもらうと、おしっこがでました。久しぶりのお風呂が気持ちよかったです。施設長の小田部牧師が「良かったですね、前田さん」と声をかけて祈って下さると、嬉しそうに「神様の恵み」と声を振り絞るように感謝していました。それから、1週間ほど母は頑張りました。口の中を時々スポンジで濡らしてもらしながら、部屋には母の好きな讃美歌を流し、白百合の花を飾り、家族は孫やひ孫まで皆会うことができました。6月1日、母は96歳で神様のもとに帰りました。5ヶ月という短い間でしたが、人生最期の時を「まきば」で過ごすことができたことは母にとって神様の大きな恵みでした。

## わたしの愛唱讃美歌

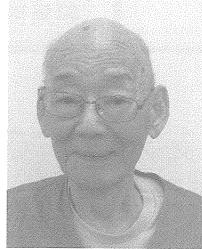
その8

ご入居者様の愛唱讃美歌を紹介するシリーズの第8回目です。  
好きな讃美歌にまつわる思い出を伺ってまいります。

**笠井 健一 牧師**  
(元・金城学院宗教総主事、  
隠退教師)

讃美歌21-79番

みまえに我らつどい、ともにわかつみ 稲を  
世の光なる主のことばもて 祝したまえ。



父も母も牧師で、四国の新居浜教会で生まれ育ちました。上京して働きながら青山学院大学英米文学科を卒業。東京神学大学に学士入学した後、大学院で2年間学び、1960年から牧会に入りました。

青山学院の学生だった頃、東京チャペルセンターという施設で礼拝を捧げていました。進駐軍が旧軍人会館を接收して開いた超教派の施設で、国会議事堂のすぐ前にありました。そこの聖歌隊に加わって8年間在籍し、ベースを担当していました。毎週、水・土・日曜日と3回の練習があつて厳しかったけれど、楽しい時間でした。

吉祥寺にあった東神大のチャペルで超教派婦人会連合の研修会が行われた時、教務部長だった左近教授から独唱にて讃美をするように勧められ、アメリカ人のご婦人50人くらいの前で、この讃美歌「みまえに我らつどい」を英語の歌詞で歌いました。私のつたない英語の讃美に、アメリカ人のご婦人達が共感して下さったことが嬉しくて忘れられません。

卒業後、姫路教会に伝道師として赴任。西宮の一麦教会から頌栄女子短大、岐阜済美学院、金城学院の各宗教主事として勤務してきました。若い人たちに、祈ること、讃美することの素晴らしさを伝えて来たつもりです。

この讃美歌は、1954年版では掲載されていませんでしたが、讃美歌21になって復活しました。今でも聖餐式の時などにこの讃美歌を歌うと、若かった頃の感動が懐かしく浮かんで来ます。これからも、「まきば」での生活を通して、祈りと讃美の日々を続けて行きたいと願っています。

**浅井淑子 婉**  
(南山教会)

讃美歌21-200番  
(こどもさんびか72番)

小さいひつじが いえをはなれ、  
ある日とおくへ あそびにいき、  
花さく野はらの おもしろさに、  
かえるみちさえ わすれました。



20歳を過ぎた頃、京都の郵便局で働いていた時に、そこで知り合った老婦人から「いつへん教会へおいでやす」と誘われて上鳥羽教会へ行ったのが、教会との付き合いの始まりになりました。そこにあつた小さくて素敵なオルガンを見て、「こんなオルガンが弾けるようになったらいいな」と思いました。父は僧侶だったので、お経しか馴染みが無かった私は、そこで聞いた讃美歌の美しさに魅せられ、毎週日曜日に教会へ行くのが楽しみになりました。

イースターの日に初めて来た神学生が、なれなれしく話し掛けて来て、変な人だなと思っていましたが、しばらく教会生活を続けるうちに、良い所もわかって来て結婚しました。その後、夫の牧会に伴って、愛知守山教会から南山教会へと移り、夫が召されてからも、教会学校の奉仕を続けさせていただきました。

この讃美歌は、子どもにも大人にも通じる“みことば”なので好きです。私自身、いつも迷いながら生きていますから、特に4番の「とうとうやさしい羊飼いは、迷子の羊を見つけました」という、この歌詞に触るとホッします。

小さい頃に教えた子が、今、親になって、その子どもたちを教会学校に連れて来てくれます。チビちゃんだった子が、やがて礼拝のオルガニストになったり、役員になって教会を支えて下さっています。

教会学校では、幼児クラス一筋で奉仕させていただきました。小さい子どもたちに神様の愛を伝える働きのはずでしたが、逆に子どもたちから教えられることの方が多い、むしろ子どもたちに育てられた教会生活であつたと振り返っています。

# 車椅子仕様車にて介護の方もお買い物!

コロナ禍では外出することが困難でしたが、「withコロナ」になり介護保険をご利用の入居者様にも買い物などへお出掛けしていただくために車椅子仕様車を購入しました。

ご利用いただいた入居者様からは「次はいつ行ける?」と大好評。これからも安全運転を心がけ、入居者様が職員との外出の時間を楽しんでいただければと思います。



車椅子仕様車で買い物へ



スライドドアから乗り込む入居者様



車椅子仕様車に乗り込む入居者様



車椅子仕様車(スロープを出した状態)



スライドドアから介助して降車



買い物を楽しめている入居者様

## 特別企画

「まきば」の介護を支える

## 「まきば」の職員の気持ち

多忙な介護の最前線を支える介護看護スタッフ24名の平均勤続年数8年の秘密を探る



ミーティングで話し合っている様子



スタッフステーションの写真

在職年数14年

介護職員・福祉用具担当者 介護福祉士  
鈴木 美絵

「まきば」で勤務して15年になり、「これまで」のことを振り返りつつ「これから」のことを考えると、最近は入居時に「自立」の方よりも、既にお手伝いの必要な方が増えていると感じています。また、介護保険事情が時代と共に変化する中で、個別機能訓練と関係してくる福祉用具担当として研修を受け、長年入居者様の日常生活動作を見て来た中で、お一人お一人の生活にあった福祉用具を選定する事に携わり、今の介護度を維持していただきながら「まきば」での生活をより豊かにしていただけていることにやり甲斐を持って取り組んでいます。

これからも入居者様と長く関わさせていただき、皆様のお元気な姿を通して、「まきば」の介護サービスの良さが伝われば嬉しいです。



入居者様との写真



アクティビティの様子

在職年数19年



機能訓練指導員 看護師  
**加藤 容子**

「まきば」へ入職した当初は看護職員と介護支援専門員を兼務していましたが、現在は機能訓練指導員としての働きが与えられ、日々入居者様の日常生活動作を見させてもらっています。

特に最近では「まきば」オリジナル体操として、月に2回「転ばナイス!」を通して、脳トレ体操や日常生活動作を維持向上するための体操と一緒に楽しみながら行っています。

日本人の健康寿命は72歳と言われる中で、6月末現在「まきば」の入居者様の平均年齢は85.5歳です。何らかのお手伝いが必要な方たちにお過ごしいただいていますが、「転ばナイス!」には毎回20名程の入居者様に参加していただき、皆様の感謝の言葉に励まされています。

その時その時に求められる働きがあります。もうすぐ入職して20年目を迎えるが、入居者様と深く関わさせていただいていることにより、より豊かな生活を如何に維持していただけるか、これからも「『まきば』に入居して良かった」と、より多くの入居者様に言っていただけるよう努めたいと思っています。



在職年数11年



介護支援専門員 ケアマネージャー  
**矢田 留津子**

「まきば」に生活相談員として入職するための面談・見学に来た時に、「聖書の集い」で「あなたは愛されている（イザヤ43:4）」とのメッセージが語られていました。「まきば」で働かせて頂きたいと強く思わされました。

今は介護支援専門員として「まきば」での介護を希望されている皆様の介護計画を作成する働きを与えられ9年が過ぎました。

ここまで続ける事ができたのは、入居者様やそのご家族様のご理解とご協力があったからこそだと心から感謝しています。

また、ここ最近「まきば」は宗教主事と施設長が兼務していることにより、入居者様（特にクリスチャン）がお亡くなりになられた時に行われる「お別れ会」にて、お一人お一人の故人略歴と信仰歴が紹介されます。その証を通し神様が共に歩まれていた事を示される度に、その歩みの一端を担わせていただけたことに感謝しながら働いていることに喜びを感じています。

介護サービスの在り方は時代と共に変化していますが、お一人お一人が神様に愛されている尊いかけがえのない存在である事を大切に、終の棲家として「まきば」を選んでくださった思いに応え、関係する各事業者の皆様の協力を頂きながら、安心してその方らしくお過ごしいただけるよう「寄り添う」介護をすべての職員一丸となってこれからも目指してまいります。



# まきばトピックス

このページでは、日本基督教団愛知老人コミュニティーセンターが運営する有料老人ホーム、シルバーホーム「まきば」でおこなわれた行事や近隣での出来事を紹介するコーナーです。

## コロナ禍で再開された行事

新規感染者数の動向を見ながら、買い物ツアー（週1回）と市役所便（月2回）を再開しました。



買い物ツアーへ出かけられる入居者様



市役所便で外出される入居者様

## ボランティアさんによる活動紹介

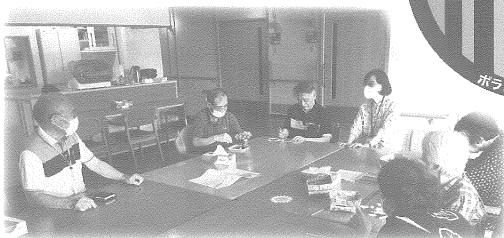
「まきば」ボランティアグループ「紬」に登録されている方々の活動



ヴァイオリンコンサート



ピアノコンサート



話し相手ボランティア

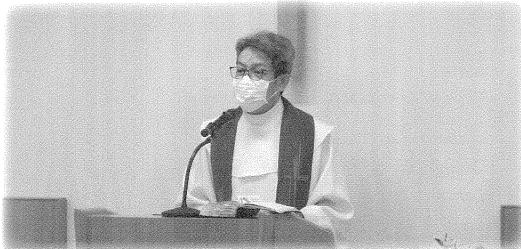


ライアコンサート

# ボランティア感謝会を行いました

コロナ禍で3年ぶりにボランティア感謝会を実施しました。

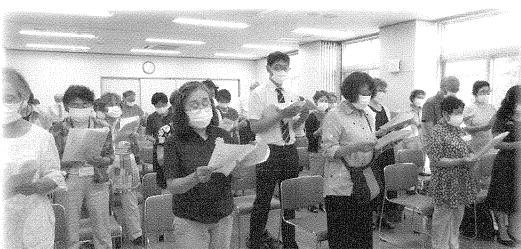
普段から「まきば」の活動を陰で支えて下さっている方々と共に、礼拝を守り懇談の時を持ちました。



礼拝



花束贈呈



礼拝時の会衆



「まきば」が感謝し隊の演奏



「まきば」が感謝し隊の合唱

## ■愛知老人コミュニティーセンターへの献金報告

献金者芳名(2021年4月1日～2022年3月31日)		
教会福祉献金	中村婦佐様、匿名1名様	2,000,000 円
センター 維持献金	今井よし乃様、仲田水尾子様、岡崎教会 泉の会様、岡崎教会様、 中京教会様、加藤久雄様、知立伝道所様、広路教会様、東海教会様、 名古屋学院中学・高等学校様、今井あすか様、南山教会様 他(匿名)2名様、「礼拝」での献金12口、「聖書の集い」での献金31口	331,777 円
	合 計	金額 2,331,777 円

皆様のお支えに感謝します。

献金  
振込先

①三菱 UFJ銀行 日進支店  
(宗)日本基督教団 愛知老人コミュニティーセンター  
運営委員長 下村 徹嗣  
普通口座 1162658

②郵便振込  
日本基督教団 愛知老人コミュニティーセンター  
振替番号 00870-4-29934

# スタッフ募集

牧場の緑に囲まれた自然豊かな環境の中で、  
人格を大切に守る介護を実践してみませんか?  
信仰生活の支援も大切な仕事の一つです。



## 看護職員(夜間)

週1日程度から。  
曜日に限定がある方は相談に応じます。  
【資格】看護師、准看護師  
【勤務】18:00～翌8:00  
(休憩4時間あり)  
【手当】精勤手当あり

## 介護職員(パート)

常勤臨時職員・非常勤臨時職員  
(休憩1時間あり)  
【資格】介護福祉士・初任者研修修了  
【勤務】4週8休(変形労働時間制)  
(正社員への登用制度あり)  
新卒の方大歓迎!!



●交通費全額支給 ※詳細はお電話ください。0561-74-5548(担当:施設長)

## 入居予約受付中



日本基督教団 愛知老人コミュニティーセンター  
*silver home*

シルバーホーム「まきば」と共に祈りの生活を……  
広い牧場を臨み、近くに愛知池があり、  
緑豊かな自然に包まれて暮らす…  
真向かいに病院があり、牧場をはさんで教会もあります。

### 交通機関

名鉄豊田線(名古屋市営地下鉄鶴舞線より直通乗り入れ)黒笹駅から900m  
東名高速道路・三好ICから3.4Km 日進市公共巡回バス・南山エピック南から200m

### 類型及び表示事項

施設の類型／介護付有料老人ホーム 居室の権利形態／利用権方式  
介護保険／愛知県指定特定施設入居者生活介護・介護予防特定施設入居者生活介護  
入居時の要件／60才以上で入居時自立及び要支援の方(要介護の方も、ご相談に応じます)  
居室区分／個室及び二人部屋 介護にかかる職員体制／2:1以上

●お問い合わせ先 シルバーホーム「まきば」 TEL.0561-74-5548

見学や体験入居もできます(要予約)

### キリスト教プログラム

「礼拝」「聖餐式」「聖書の集い」などの定例集会が毎週施設内  
であります。自由に参加できます。  
主日礼拝出席者のために、日本基督教団南山教会からバスが  
迎えに来ます。その他、南山教会の「聖書研究祈祷会」などにも  
自由に出席することができます。

## 編集後記

今号の巻頭言は、愛知牧場周辺の施設で長年ご奉仕されている岩本先生(通信編集委員長)と共にお母様と関わってこられたひかりさんに執筆していただきました。

今後日本は4人に1人が75歳以上の高齢者で構成されると言われ、特にここ数年介護施設の66%が人手不足で深刻な社会問題の一つとなっております。「まきば」にも時代の波は避けがたく、人材不足が大きな課題となっています。そんな中でも、長年勤務してくださっている職員の方が与えられていることは感謝です。どうぞお祈りのうちに覚えてくださるようお願ひいたします。

「まきば」創立から25年を経、現在隠退教師が4名、配偶者が6名入居され全体の2割を占めています。生涯を伝道のために捧げられた隠退教師と配偶者が安心して暮らす老後の住処となって頂きたいとの願いは実現し感謝です。

これからどのように導かれ、展開されていくのでしょうか楽しみです。(真木)



ま

日本基督教団 愛知老人コミュニティーセンター

まきば通信 第38号 発行日 2022年10月20日  
発行人 下村 徹嗣

〒470-0111 日進市米野木町南山987-88

TEL.0561-74-5548 FAX.0561-74-5561

ホームページ <http://silverhome-makiba.jp>

E-mail [info@silverhome-makiba.jp](mailto:info@silverhome-makiba.jp)